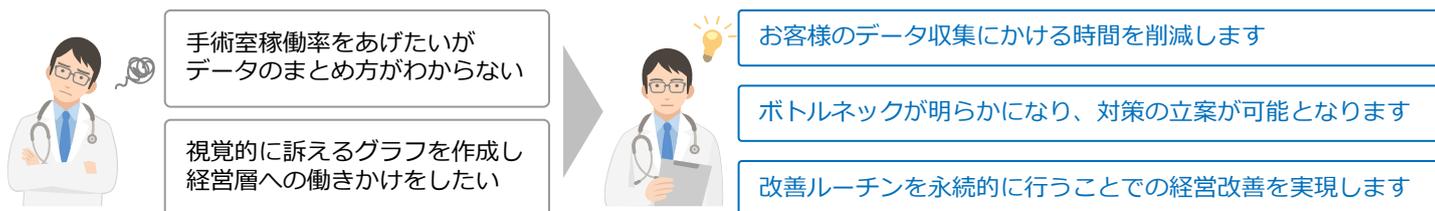


FUJITSU ヘルスケアソリューション

アサインメントマスター

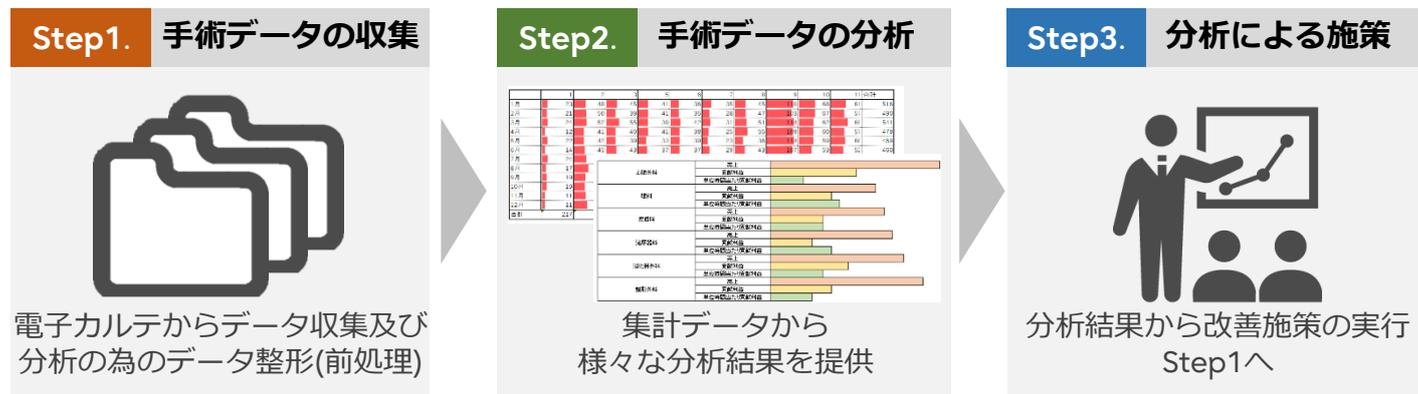
Assignment Master 手術分析サービス

手術室業務改善ルーティンを支援します



手術分析サービスとは

手術データを収集し、目的にあったデータ分析の可視化を行います。直感的・視覚的にわかりやすいアウトプットをダッシュボード化しボトルネックの発見のサポートをします。



本サービスが提供

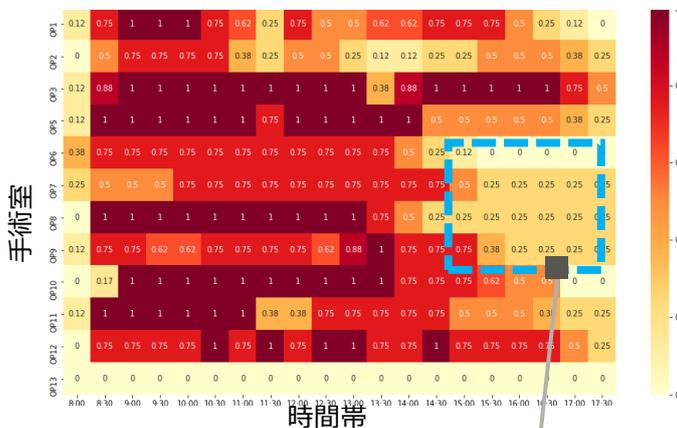
お客様の声

- ◆ 感覚的だった情報（稼働率や手術時間の予実の差異など）が可視化できることで **普段はわからない気づきが得られ、改善ポイントを導き出すことが出来る。**
- ◆ 手術部看護師の増員のような手術部からの要望を申し入れる際 **説得力のある交渉ができ、改善を実現しやすい。**
- ◆ 病院として力を入れていく手術や件数を増やす手術など **戦略を立てやすい。**
- ◆ 実行施策の評価ができるため **改善活動のモチベーションにもつながる。**

利用イメージ (提供機能一例)

手術室稼働率の確認

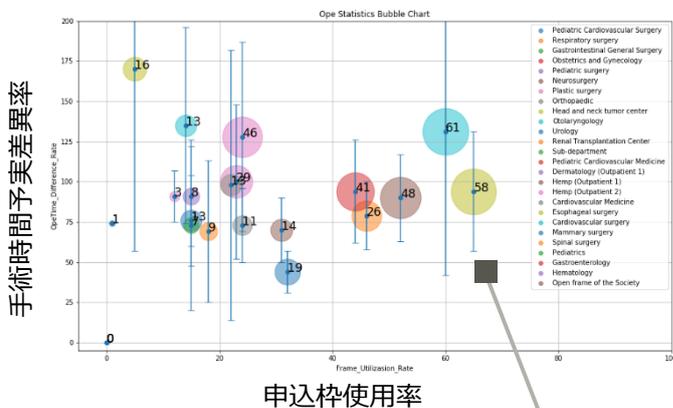
指定月や指定範囲内の特定曜日の手術室稼働率を算出。ボトルネックの原因を分析。



15時以降の手術室稼働率が低くなっており、定時帯の手術申込がまだ受け入れられる可能性があることがわかる。

申込枠の分析

各科の円がどの位置に存在しているかと件数、バラつきで申込枠の使用効率分析。



- 全体的に申込枠使用率が70%以下
- 申告時間に対して、実施時間が大きい診療科が複数存在する。上記から枠の見直しや申告手術時間の適正化が必要であることがわかる。

手術時間の予実差異分析

科毎・医師毎の手術時間の予実差異を算出。手術時間に関するボトルネックの原因を分析。



予実差異の大きさは術式など診療科の特性によるものか医師の申し込みの仕方が影響しているのかを分析し改善施策につなげる。

術式毎の時間差異分析

術式毎の手術時間の最大値・最小値・平均値などの値から実施術式に対する傾向を分析。



同じ術式でも、手術時間のひらきがあるケースについて着目し、早く手術が完了できたケースについて深掘しよい要因を施策につなげる。

●本カタログに記載の仕様は、改善のため予告なしに変更する場合がありますので予めご了承ください。
●本製品は医療機器ではありません。

お問い合わせ先

富士通Japan株式会社
ソリューション開発本部
部門ソリューション事業部
<fj-2sd_Kakuhan@dl.jp.fujitsu.com>